

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度国際ロータリーテーマ

2020～2021年度クラブ目標

『35年目の再構築 ロータリーの源流へ』

会長 吉野敬之
幹事 堀田一彦

創立 1986年



第1634回例会

令和2年8月27日 (18:30～19:30)

○ソング

- 四つのテスト

○スマイルBOX

- 吉野敬之会長（沼田会長、中島専務本日はようこそお越しいただきました。又卓話をいただき有難うございました。一日も早く一緒にロータリーソングを歌える事を楽しみにしております。青木先生、安部先生、高山先生、困難の中開催御苦労様です。素晴らしい大会になる事を願っております。）
- 堀田一彦幹事（沼田会長、中島専務ようこそ。卓話ありがとうございました。先日のゴルフでハーフベストが出たのでスマイルします。）
- 永野文雄会員（ゲストのYEG沼田会長・中島専務様、それにGKBの先生方白河西RCの例会を楽しんで下さい。今日は12年前の8・27水害の日です。暑い日が続いてます。健康に留意しましょう。）
- 鈴木孝幸会員（沼田YEG会長様、中島専務様、また、GKB実行委員会の青木先生、安部先生、高山先生、ようこそいらっしゃいました。沼田YEG会長、卓話ありがとうございました。）
- 齋藤孝弘会員（YEG沼田会長、本日はありがとうございます。そろそろ肝臓いたわってください！！）
- 青木大会員（昨日、東邦銀行のコンペに参加させてもらいました。なんと10アンダーで優勝する事ができました。バーディーを1つ取りましたのでスマイルします。）
- 居川孝男会員（YEG会長、専務ようこそ！GKB実行委員会の青木先生、安部先生、高山先生、お世話になります。快晴のもと大会が行われ子供達により記憶が残りますように！）
- 関谷亮一会員（YEG会長沼田健様、専務中島裕次郎様、GKB実行委員会青木先生、安部先生、高山先生、ようこそおいで下さいました。ありがとうございます。）

▶第1634回例会出席状況 (R2年8月27日)

| | |
|------------------------------------|-------|
| Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数 | 44名 |
| Ⓑ 出席免除の適用正会員数 | 14名 |
| Ⓓ 全正会員数 | 58名 |
| Ⓒ ①の出席者数 | 28名 |
| Ⓔ ①のメイクアップ者数 | 0名 |
| Ⓕ ②の出席者数 | 7名 |
| Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数) | 35名 |
| Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧) | 51 |
| Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率) | 68.6% |

▶例会日：第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

吉野敬之会長

皆さん、こんばんは。今日も楽しい例会に大勢出席いただきまして誠にありがとうございます。本日は、まず初めにお客様のほうをご紹介したいと思います。最初に商工会議所青年部、会長、沼田健さん。専務の中島裕次郎さん。それと、CKB改めGKB実行委員会の皆様で青木先生、安部先生、高山先生です。商工会議所青年部会長、沼田様には後程卓話のほうを頂戴するようになっておりますので楽しみにしております。合わせてご紹介させていただきます。青年部より心づくしということで、お酒のほうを頂戴しております。ご披露させていただきました。実はCKBの今年度はGKBというふうにゴーゴー県南ベースボールと名前を変えまして、いろいろとコロナでなかなか開催が危ぶまれていたところですが、先日打ち合わせをしましてそういうふうな名前で行きましょうというふうなお話をしました。是非青年部の皆様もCKBに来年からご協力いただければと思います。CKBの実行委員会の皆様のほうにも青木先生のほうから後程、今年度の開催経緯や開催の要綱のほうをご説明していただくことになっておりますのでよろしく願いいたします。それと、皆様にご報告がございます。会長、幹事経験者の方のご存じかと思うんですが、県南分区会長幹事会というものが年に4回程開催されます。その2回目が昨日、矢吹「弁天荘」で開催されました。今回の議題は、2021-2022年度のガバナー補佐の承認ということで、次年度、私どもの西クラブのほうから金田昇パスト会長をご推薦しておりまして、先日のパストガバナー補佐会議のほうで承認されたことを皆様にご報告させていただきます。これによりまして、来年度我がクラブから金田昇ガバナー補佐として、来年一年間活動していただくと共に、私どものクラブで金田ガバナー補佐を皆さんでお支えするというふうになると思いますので、また金田さんのほうからご挨拶いただく機会あるかと思っておりますけれども、一応皆様のほうにご報告をさせていただきます。その席上、通常あまりなかったことらしいのですが、セミナー的なことで会員増強拡大ということで、福島のほうから委員長がいらっしやいまして会員増強に関してお願いとありますが、増強の方法等をわたくしたち会長、幹事のほうにレクチャーをしておりまして。私が年度初めに皆様にお話したとおり、今年度、石黒ガバナーは会員拡大というものに非常に力を注いでおりまして、254名という数字を掲げてスタートしております。その割り振りの中で50名以上の会員数があるクラブに関しましては、純増8名というふうな目標設定をされております。私どもで今、ほぼ3名は決定、それともう1名も内定を

いただいているということで、わたくしが年度初めに掲げさせていただきました純増4名にしましてはほぼ達成ではあるのですが、地区のほうからは純増8名という目標を設定されて与えられておりますので、もちろん4名というものを達成したことは非常に喜ばしいわけではございますが、また8名という新たな目標に向かってスタートしなければいけないというふうに、昨日心を新たにされた次第でございます。是非、皆様方にもお力添えをいただいて、何とかガバナーのご希望の8名達成できるといいなと思っておりますので、沼田会長是非この気持ちをお汲み置きいただき、一緒にロータリーソングを一日も早く歌えるようにお待ちしております。ということで、今日はお客様いっぱいいらっしゃいますので、以上で会長の時間とさせていただきます。

■幹事報告

堀田一彦幹事

- 2020-21年度ロータリー文庫運営委員会委員長 青木貞夫：新年度に当たり各クラブへの文書配信のお願い
- 白河市赤十字奉仕団委員長 安澤荘一：令和2年度白河市赤十字奉仕団関係事業の中止について
- 諏訪湖ロータリークラブ：《広告入り種子》のご提案
- 国際ロータリー第2530地区ガバナー 石黒秀司、国際奉仕委員会委員長 初瀬照夫：職業奉仕委員会セミナーのご案内
- 岩波千恵子：中村文昭講演会案内について
- 国際ロータリー第2530地区2020-21年度ガバナー事務所：公式訪問予定表

■委員会報告

○ゴルフ愛好会

運天直人会長



皆さん、こんにちは。ゴルフ愛好会よりお知らせでございます。9月18日に、米沢中央ロータリークラブとの懇親ゴルフコンペがございます。現在12名の参加をいただいておりますが、今月の末が一応最終の受付日となっております。もし、今日確定できれば幹事のほうから送っていただくようになりますけれども、もう少し時間がございますのでもし参加される方は私のほうまでご連絡お願いいたします。

○親睦委員会

櫻岡敏之委員長



皆さん、こんばんは。親睦委員会の櫻岡でございます。今日はホームミーティングのご案内でございます。昨日、メールとファックスにて、8班のご案内をさせていただいたと思っておりますけど、

予定通り開催をしていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。班構成も非常に悩んでやりましたけれども、精一杯人選というか調整させていただきましたので、どうぞよろしくお願いいたします。

○青少年奉仕委員会

吉田充委員長



こんばんは、青少年奉仕委員会からご報告させていただきます。今度の土曜日、日曜日、G K Bの野球大会があります。例年でいうとC K Bということでやらせていただいていたんですが、今年度はコロナの影響でそういった公式試合ができないということだったので、青木先生はじめ各先生方にご尽力いただいて、G K B、ゴーゴー県南ベースボールというふうな名前だそうです。それで、今日は理事会でも決議させていただいたG K Bに対しての協賛金をお渡しさせていただきたいなと思います。この場を借りてお渡しさせていただきたいなと思います。それでは、早速ですが青木先生はじめ各先生方、前のほうにおいていただいて吉野会長のほうから協賛金としてお渡ししていただければと思います。その後、青木先生はじめ各先生方にちょっとずつお話させていただきたいなと思います。よろしくよろしくお願いいたします。

■G K B大会の協賛金の贈呈



○大信中学校

青木哲也先生



改めまして、こんばんは。毎年毎年、このような場所でお話をさせていただけることを大変ありがたく思っております。今年度は、人事異動で東中学校から大信中のほうに移動させていただきました青木哲也です。よろしくお願いいたします。今後も実行委員長やらさせていただきます。よろしくお願いいたします。本来であれば、第7回C K B大会というようなネームで大変見事な優勝旗を使わせてもらって、大会を本当であればやりたいところではあるんですが、そもそもこの大会をやらさせていただく後ろ支えのロータリーさん、その優勝旗を使う大会にふさわしい大会でいうと東日本大震災の後、福島が本当に風評被害に農作物等で苦しんでいる時に一役買って

れて明るい話題をとということで、神奈川の逗子開成の栄先生の学校が60人70人という大所帯で保護者さんも含めると100人以上の体制で、福島の県南の地に明るい話題をとということで来てくださったところからのスタートだったのがこのC K B大会なんです。実は、その大会をやる前の2月に自分たちの地区から合宿に行かさせてもらったことがあるんですが、その際に違う公立の先生だったんですけども、その公立の先生が逗子葉山地区で給食になると。その給食の際に、東日本大震災の直後2~3年後以内の間だと野菜とかで東北産は保護者会とかで食べさせられないとか、そういった話が出てるんですなんていう話を私らにされているようなくらいの状況の中で、その逗子開成の保護者さんや野球部員をうまく話をしてくれて、それが7年ずっと続いてきてくれた栄先生たちがやはり今回このコロナで県をまたげないというところで、そういった支えがある中のあの大会と考えると、本当に今年は大変申し訳ないんですがC K Bという名前の優勝旗、逗子開成の栄先生たちがいらっしゃらない中での旗のやり取りというのは、もう到底考えられないという状況になってしまいましたので、今年度はコロナの中で出来ることをということをしていろいろと考えさせていただきました。旗は使わさせてもらわないでただ子供達には一生に一度の中1中2の一年間ですから、その中で出来ることということでメモリアル大会ということでG K Bということで名前を今年一年で何とか済めばいいんですが、そんな形で何とかやらせてもらうということで、また協賛金を使用させていただきます。本当にありがとうございます。これをやるにあたって、本当に7月の終わり8月の頭くらいまでは、なかなか学校内の校長会とか教育委員会等々の絡みもありまして、やれるかどうかというところで本当に先生方とも協議はしたんですが、ジャイアンツ杯、この間野球連盟や競技力向上委員会、あと読売巨人軍が福島に賛同していただいて、ジャイアンツ杯県大会までやることができました。そういったところで自分たちも競技力向上委員会という組織がありまして、そちらのほうで県南もそれでやっていこうという話になりました。ということで、本当にぎりぎりの決断の中で各方面に案内を出し、例年どおりTシャツなんかも声を掛けたんですが、本当に部員が少ない状況にもある中、それでいてT



シャツの購入の期間もすごい短い中だったんですが子供たち沢山買ってくれまして、やっぱり野球大会と出来ることに本当に喜んでくれていたんだというふうに、自分たちも肝に銘じて良い大会になるように盛り上げていければと考えております。本当に規模縮小な形でやらせていただくんですが、心は熱く、そして子供たちに最善を尽くした大会になるよう一丸となって運営してまいりたいと思います。有効に使わせていただきますのでよろしくお願い致します。

○白河中央中学校

安部賢先生



こんばんは。GKB大会の事務局をしております白河中央中学校の安部と申します。毎年、この大会にご協力ありがとうございます。今、青木のほうから大会の経緯であったりそういった話ありましたので、私のほうから今の中学校の野球はどうなっているのかというところをちょっとお話ししたいと思うんですが、コロナの騒ぎが3月から始まり、中学生はもう3月から5月中旬まではほぼ練習ができない状況でした。4月の頭に学校は再開したんですが、ほぼ概ね2か月は野球が全くできないという状況でした。5月下旬以降、できるようにはなったんですが中体連も中止ということで、特に3年生目標もなかなか見つからないような状況で、我々は体を鍛えるため心を鍛えるために部活やってきたんだよなんていう話はするんですが、それでもやはり大会がないということで、なかなか子供たちのモチベーションをあげて持っていくのに、やっぱりいつもよりも苦労しました。7月末に3年生唯一の最後の大会、ジャイアンツ杯開かれまして本当にたった一つの大会だったんですが、負けたチームは涙し勝ったチームは喜んで最後県大会まで終えることができました。このGKB大会は新人チーム1、2年生が主体となるんですが、1、2年生も本当に自分らの大会ができるんだろうかという不安をずっと持っていました。この大会、子供たちないんじゃないのかなとちょっと考えていたところもあったんですが、今年もやるぞという話をしてうちのチームの子供たちは本当に心から喜んでおりました。やっぱり大会があると練習にも熱くなりますし、どこが悪かったのかとか、勝って嬉しい負けて悔しい、じゃ今後どうするなんていうところが本当に子供たちは深く考えるようになるのを実感しております。ですので、こうやって今回大会開いていただけということで、子供たちにすごくプラスになると感じております。また、部員が今大変少なく、大会一つ参加するのにも参加料であったりボールであったり、本当に一人の負担がすごく増えているような現状です。ですので、このたび協賛金いただきまして、本当にボールであり、大会参加料であったり、そういった面で毎年活用させて

いただいているんですが、そういった形で負担が少なく大会に出させていただけるというのはありがたい限りです。何とか感謝の気持ちを持って、子供たちが一生懸命勝っても負けても全力でやる姿をお見せできればというふうに思っておりますので、また今年も大会のほうよろしく願いいたします。

○東北中学校

高山正康先生



こんばんは。本当に毎年CKB、今年はGKBですがロータリークラブの皆様にご協賛いただき感謝しております。心からお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。今、青木先生のほうと安部先生のほうからいろいろとお話あったと思いますが、現状野球をやっていくスポーツをやっていくということで、今コロナで子供たちも結構こう心が狭い中でどうしたらいいのか、罹ったらどうしようとか、そういうふうな感じでなかなか難しく、私たちもやらせてあげたいと思いつつある中で、こういう大会ができるというのは本当に幸せだなと思いますし、新人の子たちにとってもこのCKBというのは小学生からCKB大会あるんですよと、保護者の方もCKB大会あるんですよ。うちの場合は、女子のソフトボールも盛んで、女子のソフトボールもCKBと聞くとあのTシャツとかかそういうふうにもうみんなに浸透している大会になっています。本当に毎年、楽しみに子供たち保護者の方もやっていますので、是非今後よろしく願いします。実は自分、東北中に来る前は神奈川にいまして、先程話があった逗子葉山の横須賀のほうに5年間務めていました。その前は震災の年に、今安部先生がいらっしゃる中央中学校に講師として勤務してて、試験がなくて横須賀のほうで採用されたので、一度は福島を離れるということになりました。5年後、こちらのほうに戻ってきた時に東北中学校ということで、何か県南にはすごく縁があるんだなと、そしてCKBという大会にも何か縁があるんだなということですのですごく縁を感じていますので、自分自身もこの大会はすごく思い出に残りますし、何か縁を感じる大会でありますので、今後是非県南で教員を務めながらCKBのほうを一生懸命努めていきたいと思っております。自分は競技力向上ということで、子供たちの競技力が上がっていくような指導等に力を入れています。それもいろいろな方の支えがあってやっていけるものなので、今後とも私たちのほうも頑張りますので応援のほうよろしく願いします。本当にありがとうございます。

○青少年奉仕委員会

吉田充委員長

それでGKB野球大会ですが、29日、30日2日間です。29日は8時半から、吉野会長が始球式をや

るというふうな形になっております。例年ですと開会式があるんですが、今年度は開会式がないということなので、行ける方は参加していただくというふうな形でお願ひしたいと思います。30日は閉会式が15時からということなので、それも行ける方は30日の15時に泉崎の球場のほうで執り行いますのでよろしくお願ひします。子供たちの元気な姿を見てエネルギーをいただいできたいなと思いますので、どうぞ皆さん奮って参加してください。よろしくお願ひします。

■本日のプログラム

ゲスト卓話

○白河商工会議所青年部 会長 沼田健様



白河西ロータリークラブの皆様、こんばんは。本日はお招きいただきありがとうございます。また、日頃より当青年部へのご理解とご支援を賜りましてありがとうございます。私は白河商工会議所青年部、会長を仰せつかっております沼田健と申します。よろしくお願ひいたします。仕事は「有限会社白河レッカー」と申しまして、建設現場でのクレーン作業に携わらせていただいております。私、生年月日は昭和52年4月23日生まれで、今43歳でございます。出身は表郷、今も表郷に住んでおります。本日はこういう場で一人だと心細かったものですから、うちの専務にも来てもらいました。中島裕次郎君です。よろしくお願ひします。専務は「中島会計事務所」に勤務されて、ご自宅というか昼間勤務しておりますが、夜は白河駅前で「ビアドパパ」というバーを経営しております。皆さん、機会がありましたら是非「ビアドパパ」へ足を運んでいただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。私と中島専務、本当二人並ぶと、見てくれがかなり悪い、この坊主と髭で他のこういう会ですとか、青年部の他の単会のほうにお邪魔すると、やっぱり第一にそういう声がまずあがるような状況に今なっておりますが、ただ得するところもありましてすぐに覚えていただける。東北の各県でもすぐ覚えてもらって、次に会う時すぐこっちがなかなか思い出せないような状況に今なってるようなところで、悪くもあり良くもありというところですが、共々今後よろしくお願ひいたします。今日は、卓話をさせていただけるということで、毎年青年部の会長がこちらにお邪魔させていただいております。いざ自分の番が回ってきたなというところで、このような機会も初めてくらいの事ですので、大変緊張しておりますが、またところどころ普段は私こういう話し方しないもので、普段の訛りが出てしまったりとかするかと思います。聞きにくいところがあるかと思いますが、どうか長い目で耳を傾けていただければと思います。よろしくお願ひいたします。まずは、青年部もこの状況

の中、青年部活動大変しづらくなっている状況です。青年部の年度替わりは4月をもって新年度が替わるようになっております。ただ、今年度は実際本格的に活動できたのはやっぱり緊急事態措置、それが解除されて6月くらいからやっと一つのところに皆集まって面と向かって話ができるようになったところでございます。それまでは、今もう定着化しておりますズーム等を使ったウェブ会議を中心として活動してきましたが、ただやっぱり慣れてなかったもので、非常に実際面と向かって話し合うよりも全然内容が薄くなりがちな部分がありました。私自身も電話で話すよりも会って話したいというようなところがありまして、そういうところでも本当にやりにくかった6月まで思い出があります。ただ、今はもうやっと再開しておりますが新年度、今年度当初予定しておりました事業ほとんど中止になってしまっております。本来ですと、4月から始まって通年通して行う予定でした。これは市内の主に小学生を中心といたしまして、農業、畜産業、そういうところから携わっていただきまして、それを収穫した野菜とか牛乳、またはお肉等を商品化するまで子供たちに考えてもらって、それを屋台形式で販売するというのを当初考えておりました。それがやっぱりこういう状況で残念ながら中止。また、毎年夏に白河駅前のイベント広場で開催させていただいておりました「関まつり」と花火大会に合わせた夏のイベント、こちらも早々中止を決定いたしました。これは当青年部にとっては一番の稼ぎどころでした。できなくて本来に来年の分、金残せるのかどうかちょっとすごく厳しいような状況になっておりますが、何とかして頑張りたいと思います。さらには、毎年この西ロータリーさんから多大なるご支援をいただきながら開催しておりました。白河駅前で行われておりました自転車のロードレース「城d'白河」こちらも残念ながらできないんじゃないかというところで中止とさせていただいております。これは去年は台風の影響で去年も中止になってしまったところがあります。今年ではできるといいねというような話をしたところなんですけど、まさかこういう状況になるとは思わなかったところで、これも残念ながら中止というところになっております。そのいろんな事業ができない中で、今日は皆様のお手元にお配りさせていただいております資料がございますが、そちらを目を通していただければと思います。こちら「陽はまた昇るプロジェクト」第二弾というところですね。この「陽はまた昇るプロジェクト」なんですけど、私今日たっぷり時間をいただいたものですから読み上げさせていただきます。昨今の新型コロナウイルス感染症の問題については、今日に至るまで白河市民をはじめ全世界が経験したことの無い危機的状況に直面しており、さらには市内をはじめとした地域経済へ大きな打撃を与え今後もその悪化が懸念されます。

先般、福島県緊急事態措置が解除されました。しかし、一方で新型コロナウイルスとの戦いは長期戦となることが見込まれております。今後再び感染が拡大する可能性も十分にあり、先行きは不透明と言わざるを得ない状況が続いております。白河商工会議所では平成23年3月、東日本大震災復興支援事業として「陽はまた昇るプロジェクト」を立ち上げ、白河市の復興の一助となるべく様々な事業を展開してきました。そこで今年度、白河商工会議所青年部では新型コロナウイルスとの戦いに打ち勝つべく、下記により「陽はまた昇るプロジェクト」第二弾を宣言し、このような危機的状況のもと東日本大震災からの復興を成し遂げた時と同様、個人、各企業、各団体が力を合わせ地域経済の低迷を払拭するための活動を展開し、白河市の危機的状況からの脱却を目指してまいります。という内容で、プロジェクトを立ち上げております。これまでおこなってまいりました事業について簡単にご説明させていただきます。まずは、6月に白河市へ子供用布マスクの寄付。こちらはその時はまだ全然マスクが流通してないながらも、大人用のマスクはだんだんと流通してきたところではあったんですが、子供用のマスクとなるとまだ数が足りてないという状況にありました。そこで商工会議所青年部のネットワーク、全国ネットワークを使いまして何とか準備いたしました。子供用布マスク、こちらを子育て世代の負担軽減と未来を担う子供たちの感染予防に役立ててもらおうという意味を込めまして白河市のほうへ寄付させていただきました。こちらを市から各幼稚園へ配っていただいたものもありますが、私と中島専務で幼稚園を一軒づつ歩かせていただいた幼稚園さんもございます。その時もやっぱり、最初に会った幼稚園の先生は二人を見るとこの人たち何だべなという顔をして、何者か悪い人が来たんじゃないのかみたいなことを思った先生も、顔は明らかにそういう顔をしておりましたので、やっぱり見ただけで悪いんだなというところはありました。次に、白河市コロナ対策医療等支援のためのという、これは7月に行いました。コロナ禍の中、日夜最前線で奮闘しております医療従事者、介護従事者の方々の為にお役に立っていただけるよう商工会議所青年部と青年部のOBが協力して、この寄付活動を行いました。これは青年部現役、OBのみならず市内各様々な企業さんから多大なご寄付をいただきまして、市長のもとへお届けに上がったところ大変喜んでいただけました。まだまだ、市のホームページ等を見ますと、いろんな寄付金を募集しているようなページも見かけますので、何か今後もそういったもので出来る限りのことがあれば協力していきたいなと思っております。「陽はまた昇るプロジェクト」白河会議、これは8月、今月の始めに行いました。白河ウィズコロナ、ピンチをチャンスにということで、こちらは白河市長をお迎えいた

しまして講演会を開きました。その市長の講演をもとに、我々青年部で今後このウィズコロナ、アフターコロナに向かって行く時に、自分たちが市に対して何ができるか、どのような活動ができるか、どのような支援ができるかというのを今まとめている段階でございますけれども、意見をまとめまして市へ提言したいと思っております。今後、新型コロナウイルスにかかるすべての支援事業を「陽はまた昇るプロジェクト」第二弾として展開していくということになっておりますが、ここに今後の予定というものが記載されておりましたが、今後はまず10月の半ば、24、25日でしたか、こちらは「コミネス」のほうと共催という形で、ドライブインシアターのほうを「コミネス」の北側駐車場を使って開催する予定となっております。青年部としては、飲食ブースのほうをお手伝いさせていただくことになっております。お時間のある方は、まだチケット等の販売はいたしておりませんがご協力をよろしくお祈りしたいと思います。また、毎年行っております白河駅前のペットボトルツリー、イルミネーションの事業ですね。こちらは当初中止にしたほうがいかなというところがあったんですが、ペットボトルツリーを作るのにも各学校さんをお願いしての部分がありましたので、そういうような状況でどうかなというところがあったんですけども、いろんな対策を練りながら何とかできるんじゃないかという方向性が出ましたので、これは例年どおり行う。あとはメインといたしまして、いつものペットボトルツリーの中心にこのコロナの状況の中、各小中学校の子供たちの願いを書き込んだモニュメントを作成する予定でおります。こちらのもその一つだけ大きなそのモニュメントに、子供たちのいろいろな願いが記載される予定となっておりますので、お時間のある方は足を運んでいただいてペットボトルツリー、またはその際に青年部といたしまして屋台的なことも考えております。そちらも併せてお願いいたします。今年度、一番白河商工会議所青年部の大きな事業といえますか、今年度、白河商工会議所では東北ブロック大会を白河大会ということで、ブロック大会を白河市で行うことが決定しております。ブロック大会といえますのは、東北各地から青年部の仲間たちが白河に集まって、記念式典、次年度へ向けての会議、研修会、懇親会などを通して交流を深めたり、またそれを通して自分の商売であったりとか、地域経済を発展させるための研鑽の場でもあります。また、白河商工会議所青年部のPRの場でもあります。ブロック大会は登録制で開催されておりますが、ここ何年かブロック大会のその登録数を見ますと、約1500とか1600登録者が昨年は1600程ありました。この人たちに是非白河に来て金を使ってもらおうということで、白河市の経済、地域活性の一翼を担う大会ということにもなっております。今年の白河大会も、それと同等か

それ以上の登録に向けてもう3年近く前から準備キャラバン活動等をおこなってまいりましたが、このブロック大会この白河大会を、今回もしも無しになってしまうということが起きると、次に白河に回ってくるのが60年後という、これはまさに今しかできないという我々にとっては大事な事業となります。ただ、この状況ですので、例年どおりの開催は難しいんじゃないかという状況です。その中でも、まず自分自身、ご家族、自分の企業、さらには白河市の安全を第一に考えて開催する方法を今もお検討しているところでございます。今月中には、こういった開催方法がいいのかなというところを結論づけなくちゃいけないところではありますが、それが先程の2枚目のほうのチラシに記載されておりますが、本来は10月にこの右側に令和3年5月14、15日と書かれているものも10月にすべて行う予定でした。ただ、この春の会長会議、分科会、大懇親会というのは、本当にこの登録者数のほとんどが白河に集結する事業となっております。それですと、やっぱり不安がちょっとどうなのかなと周りの意見があったり、自分たちもこれやったらまずいんじゃないかなというように状況を考慮しまして、今年の10月には必ずやらなくちゃいけない会議を行う。その大人数集まるものを来年度の5月に行うという方向で今進めております。ただやっぱり、この10月につきましても5月につきましても、コロナの状況が今と同等、またはそれより悪化しているような状況であれば、こちらはもう10月には完全なウェブ開催。来年の5月の事業に関しては、その時の状況にもよりますが、場合によっては完全中止というようなところで今話が進んでおります。私も昨年の9月、青年部では9月に臨時総会というものがありますが、そこで令和2年度の会長予定者といたしまして承認されました。その時は、まさかこんな状況になるとは思いもしなかった。ここ最近はやっと慣れましたけども、その時は本当ついてないなとかいう思いがすごくあって、せっかく会長になったのに何にも事業ができないで終わってしまうのかなという考えがすごくありました。私、今こんな感じですけど、若い時、中学生とか高校生の時は運動が得意な方で、今はゴルフも何もやってないんですが、中学校時代は先程中学生の野球の話がありました。私も野球部でした。それと、表郷中学校は駅伝部がありました。



特設の駅伝部です。陸上部がなかったものですから、野球部とかサッカー部とかバスケ部とかから足の速い奴が集まった特設の駅伝部が。ただ、それがすごく強かった時だったんです。私が1年生の時に東北大会で優勝しました、表郷中学校が。2年生の時も優勝しました。私が3年生の時は、惜しくも2位ということだったんですが、その私3年生の時、実は区間新記録で区間賞を取っております。ちょっとすいません、自慢です。それがまだ抜かれてないそうです。それでなんで抜かれてないかといいますと、私らが中学校卒業した次の年から私らの時は8区間だったんですが、次の年から6区間になったそうです。なので、二度と同じコースは走らないということで、今でも東北大会のパンフレットには私の名前が区間新記録というところ載っているそうです。この前、中学校のその駅伝部の先生と酒飲みした時言ったので、それは確かだと思います。それと高校時代、私は白河実業高校出身でございます。その時は自転車競技部に所属しておりました。2年生くらいからインターハイとかも出場しておりましたけども、実は私の父親が元競輪選手です。オリンピックにも出ております。ミュンヘンオリンピック出ております。それに憧れて自分も競輪選手になりたいと思って、まずは実業高校で自転車部に入りました。競輪選手になるには高校を卒業した後、日本競輪学校という学校に入らなくちゃいけないんですね。それが倍率が私がいた時、15倍とかいう倍率でかなり厳しい一年間に75人しか競輪選手になれないという時代でした。その時は年齢制限もありました。年齢制限は24歳になるまでに競輪学校を卒業しなくちゃいけないというところがあったんですが、私、実は高校卒業してからその年齢制限いっぱいまでラストチャンスまで親のすねをかじりました。ただ、最後の試験、最後の年、実はまたちょっと自慢します。競輪選手は競輪という競技なんですけど、自転車競技というところでいいですよ、私は短距離が得意なほうだったんですね。短距離で1000メートルタイムトライアルというのがございます。こちらで、競輪学校の試験も1000メートルタイムトライアルというものなので、同じ競技を自転車競技としてもアマチュアの競技としてもやっておりました。こちらはその最後の年に東北総体、これは国体の予選の大会みたいなものですね。そこで私その1000メートルタイムトライアルで、また大会新記録で優勝してしまいました。これもなぜかわかりませんがまだ記録が20年も前の話なんですけど、まだ記録が残っているそうです。去年の時点では。これがその時、シドニーオリンピックが行われたんですが、その時の銅メダルのタイムより早かったです。まあ、バンクの条件とかいろいろ違いが、タイムだけでいうとそれだけのタイムで走ったので、やっとなり調子出てきたなと競輪選手になれるかなんていう安心しながら試験

に臨むところだったんですが、試験の2週間くらい前、交通事故。信号で止まってる時に後ろから追突されてしまいました。それで酷い腰痛とむち打ち、これで試験までにもう間に合わなかったというところで、本当についてないというの、本当にそこでもついてない、ついてないこともいっぱいありました。ただし、ついてることとか楽しいこともいっぱいあります。ただ、あんまり良い事がそんなになかったかなと。これから楽しみたいと思います。このコロナの状況の中、誰に対して何をしてあげたら喜ばれるのかな、そんなことを毎日考えながら生活してたんですけど、寝てても夢に出てきたり、周りからはこのコロナのせいで身動きが取れないとやはり心配して、青年部何もしないのかという先輩もいらっちゃったり、やったらやったで集まって大丈夫なのかという人もいたり、もう頭がパンクしそうな状況がしばらく続きまして、専務のところに飲みに行ってグダ巻いたりもしたんですけども、私は青年部に入ってちょうど10年目になります。いろんな活動、夜の酒飲み、いろんな素晴らしい仲間に出会えたことが青年部に入会して一番良かったことじゃないかなと思います。困った時も助けてくれたのは仲間です。先輩たちに教えてもらったこと、それをしっかり後輩たちに引き継ぐことが今の自分たちの使命だと感じております。時代も変わったのかどうかあれなんです、昔自分が先輩たちから教えてもらったような教え方、ご想像にお任せしますがそれは今出来なくなったりもしています。それと、昔は酒飲みの場だからこそ教えてもらえるような大事なものがあつたような事もありましたが、今の若いメンバーはなかなかお酒飲む場に出てこれないような状況があつたりと

か、ましてや今は状況仕方ないと思います。やっぱりその辺でも仕方ないと感じるところでございます。私は今まで後輩たちについては口で言うのではなく、自分で体動かして何かのイベントの設営でも率先して自分で動いてれば見てくれて覚えてくれるんだろなというところで動いて、そういう教え方をしてきたつもりなんです、今になるとやっぱりその当時見てくれた後輩もやっぱりいました。あの時、先輩こうでしたよねと言ってもらえるのがすごく嬉しかったです。青年部の地域の経済人として、これから自分の会社を引っ張っていかなくてはならない存在です。この青年部で培った精神を自分の会社の経営に生かして、そこから白河の地域振興に繋げられるよう今後も活動していきたいと思います。青年部の指針の中に、文化を伝承しつつ新しい文化の創造に向かって進めようという文字がありますが、まさにこのとおりで先輩たちの教えてくれたものを大事にしながら、また新しい変化をそこへ付け加えながらより良いものにしていく、これが我々の使命だと信じ今後も活動をしていきたいと思ひます。西ロータリークラブの皆様には今後いろいろな部分でご理解と、またご支援をいただくこともあるかと思ひます。その際はまたお願いにあがりたく思ひますのでよろしくお願ひいたします。なんとも取り留めのない話になってしまいましたが、これで終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございます。



G K B (GOGO) 県南ベースボール大会

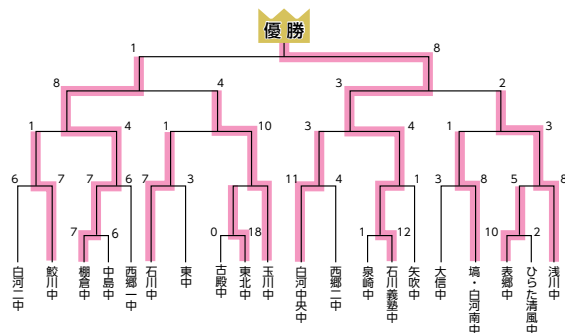
8月29日・30日



GKB参加者



表彰式



会場：泉崎さつき・第二球場